



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東
 コード番号 2708 URL http://www.kuze.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)後藤 明彦 (TEL)03(3987)0018
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	32,455	4.5	8	△82.9	75	△34.3	72	△29.4
30年3月期第2四半期	31,072	2.4	52	△74.1	115	△53.9	103	△39.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 62百万円(△87.4%) 30年3月期第2四半期 501百万円(790.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	19 65	—
30年3月期第2四半期	27 84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	23,030	6,067	26.2
30年3月期	22,116	6,050	27.2

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,037百万円 30年3月期 6,024百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
31年3月期	—	0 00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	12 00	12 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	8.2	330	△23.1	380	△30.4	260	△37.4	70 24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期2Q	3,882,500株	30年3月期	3,882,500株
31年3月期2Q	181,073株	30年3月期	181,073株
31年3月期2Q	3,701,427株	30年3月期2Q	3,701,427株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境が改善されるなか、緩やかな景気の拡大が継続しました。しかしながら、米中貿易摩擦の影響や政治情勢の不確実性の高まりなどにより、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましては、消費者のニーズが益々多様化し、簡便調理品や健康訴求品の需要が拡大する一方で、原料価格の高騰や、人手不足による人件費の上昇などが加わり依然として厳しい状況となっております。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第4次3ヶ年中期経営計画」を定め、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化、提案営業を重視した営業体制の一層の整備と推進、徹底した物流業務の効率化による物流費の削減、物流システムの導入をはじめとする業務の見直しによる品質向上を進め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は324億55百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は8百万円（前年同期比82.9%減）、経常利益は75百万円（前年同期比34.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は72百万円（前年同期比29.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努めるとともに、付加価値の高い商品やサービスの提案を積極的に行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、センター運営の内製化や商品集約による在庫の適正化、配送ルートの再編などによる効率化に取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は303億80百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益（営業利益）は3億19百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。引き続きキスコフーズ商品の販売強化と新商品の開発、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は20億81百万円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益（営業利益）は1億16百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は73百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益（営業利益）は55百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億13百万円増加し、230億30百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が3億74百万円減少し、現金及び預金が10億59百万円、有形固定資産が1億51百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ8億96百万円増加し、169億62百万円となりました。これは主として長期借入金が増加し、支払手形及び買掛金が9億91百万円、未払金が1億69百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し、60億67百万円となりました。これは主として為替換算調整勘定が23百万円減少し、利益剰余金が28百万円、退職給付に係る調整累計額が4百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は26.2%（前連結会計年度末27.2%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して1億15百万円増加し、55億39百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して10億93百万円減少し、16億13百万円の収入となりました。これは税金等調整前四半期純利益が1億25百万円、減価償却費が1億16百万円、売上債権の増減額が3億66百万円、仕入債務の増減額が10億円であったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して2億56百万円減少し、1億95百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出が2億8百万円、有形固定資産の売却による収入が1億13百万円、無形固定資産の取得による支出が43百万円であったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して1億円増加し、3億68百万円の支出となりました。これは長期借入れによる収入が3億円、長期借入金の返済による支出が6億1百万円であったことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、平成30年5月14日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,020	6,080
受取手形及び売掛金	7,629	7,254
商品及び製品	2,355	2,399
原材料及び貯蔵品	227	256
その他	644	595
貸倒引当金	△36	△35
流動資産合計	15,840	16,552
固定資産		
有形固定資産	2,184	2,335
無形固定資産	439	441
投資その他の資産		
投資有価証券	2,313	2,317
その他	1,428	1,472
貸倒引当金	△89	△89
投資その他の資産合計	3,651	3,700
固定資産合計	6,276	6,477
資産合計	22,116	23,030
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,755	11,747
1年内返済予定の長期借入金	1,127	1,094
未払金	1,177	1,346
未払法人税等	64	77
賞与引当金	221	263
その他	401	398
流動負債合計	13,748	14,927
固定負債		
長期借入金	1,491	1,222
役員退職慰労引当金	189	197
退職給付に係る負債	214	223
資産除去債務	78	79
その他	344	311
固定負債合計	2,318	2,034
負債合計	16,066	16,962

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	291
利益剰余金	4,619	4,647
自己株式	△151	△151
株主資本合計	5,061	5,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	935	937
繰延ヘッジ損益	3	6
為替換算調整勘定	35	11
退職給付に係る調整累計額	△12	△8
その他の包括利益累計額合計	962	947
非支配株主持分	26	29
純資産合計	6,050	6,067
負債純資産合計	22,116	23,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	31,072	32,455
売上原価	25,214	26,121
売上総利益	5,857	6,333
販売費及び一般管理費	5,805	6,325
営業利益	52	8
営業外収益		
受取事務手数料	32	33
受取配当金	20	24
物流業務受託収入	19	19
その他	36	38
営業外収益合計	109	116
営業外費用		
物流業務受託収入原価	29	29
その他	16	20
営業外費用合計	46	49
経常利益	115	75
特別利益		
投資有価証券売却益	16	—
固定資産売却益	—	54
特別利益合計	16	54
特別損失		
固定資産除却損	0	3
減損損失	—	0
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	131	125
法人税、住民税及び事業税	13	62
法人税等調整額	15	△14
法人税等合計	28	48
四半期純利益	103	77
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	103	72

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	103	77
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	384	1
繰延ヘッジ損益	5	2
為替換算調整勘定	5	△23
退職給付に係る調整額	3	4
その他の包括利益合計	398	△14
四半期包括利益	501	62
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	501	64
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	131	125
減価償却費	115	116
のれん償却額	—	21
減損損失	—	0
固定資産除却損	0	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△16	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△46	41
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5	11
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8	8
受取利息及び受取配当金	△21	△26
支払利息	6	5
固定資産売却損益(△は益)	—	△54
売上債権の増減額(△は増加)	50	366
たな卸資産の増減額(△は増加)	△293	△79
その他の資産の増減額(△は増加)	9	35
仕入債務の増減額(△は減少)	2,578	1,000
その他の負債の増減額(△は減少)	317	69
小計	2,846	1,644
利息及び配当金の受取額	19	24
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額	△152	△55
法人税等の還付額	—	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,707	1,613
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15	△15
有形固定資産の取得による支出	△122	△208
有形固定資産の売却による収入	—	113
無形固定資産の取得による支出	△37	△43
投資有価証券の取得による支出	△252	△4
投資有価証券の売却による収入	18	—
その他	△42	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△452	△195
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300	300
長期借入金の返済による支出	△493	△601
リース債務の返済による支出	△29	△24
配当金の支払額	△45	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268	△368
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,987	1,044
現金及び現金同等物の期首残高	3,437	4,495
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,424	5,539

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	29,007	2,059	6	31,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	—	67	79
計	29,020	2,059	73	31,152
セグメント利益	332	143	53	528

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	528
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△481
四半期連結損益計算書の営業利益	52

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	30,367	2,081	6	32,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	—	67	80
計	30,380	2,081	73	32,535
セグメント利益	319	116	55	491

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	491
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△486
四半期連結損益計算書の営業利益	8

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。